

株関区労働者の情熱と団結で 35体制・貨物合理化の攻撃と闘いぬく

蘇我支部大会

日刊 動労千葉

81.12.18
No.924

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)四三二二・七二〇七

蘇我支部通信員発

蘇我支部は、12月11日9時半より、蘇我支区誘導詰所において、才四回支部定期大会を開催し、勤務者以外全員37名が参加し、この一年間の総括、とりわけ35万人体制・貨物合理化攻撃に対する取組からの闘いをどうつくり出していくかについて真剣な討論がなされ、成功裡に終了しました。

『強固な団結力で闘い、前進した一年』古川支部長あいさつ

大会は、本部から山口副委員長、中野書記長、森内特別執行委員を迎え、その他千葉地区労より檄電をいただき、議長に竹内代議員を選出しました。

冒頭あいさつにたった古川支部委員長は、「全組合員がすぐる一年間さまざまに闘いを、支部の乱れぬ団結力をもって闘いぬいた。支部組合員皆さんの御協力と労苦に感謝します。この間組合員の先頭にたつて乗務員分科の闘いを闘いぬいた林乗務員会長が逝去された事の無念さと故人の遺志を引きつぎ、全組合員が今後一層奮闘していくことを誓おう」という心のこもったあいさつがなされました。

『全組合員の力を合わせて、厳しい情勢を突破しよう』山口副委員長あいさつ

つづいて、本部を代表して山口副委員長から、「激動する社会情勢と、とりわけ国鉄35万人体制・行革攻撃に抗する職場生産点の闘いは重要さを増してきている。退職金・年金削減といった攻撃も含め、様々に起きてくる現実問題をどうはねかえし闘っていくのかポイントだ。三里塚から反撃し、情勢全体を大きく労働者階級の側に変えていく闘い、即ち動労千葉がかかっている80年代自前の労働運動路線を更にうち固め、全組合員で力を合せ前進しよう」と激励しました。

貨物合理化・株関支区の将来展望等で活発な討論集中

執行部側から一年間の総括と82年に突入する闘いの方針が提起されました。活

発な質疑討論に入り、各代議員が発言し、要旨として次の質問、意見が出されました。「組合員による基金一人一口獲得運動の考え方」「蘇我支区の都市手当の見直し」「京葉線の将来展望」「貨物合理化攻撃と蘇我支区の展望」「合理化とのからみで、職場における当局のオニマル生攻撃が開始されていること」「支区新庁舎建設の要求」「定年延長問題」等が出され、支部執行部、本部よりの答弁をうけました。活発な討論がまじえ総括的な答弁として、81年3月ジェット闘争を貫徹したことは階級情勢に導まじい衝撃と波及力を与え、動労千葉一三〇〇組合員の闘いが全国の労働者の心をとらえた、と同時に団結が一層強固なものになり、しかしながら、これから来る、いやすでに求めている大反動攻撃に対し、三里塚「ジェット」ストライキを打ちぬいた団結力を更に強化発展させ、82年激動化する情勢に抗する闘争をつくり出し、諸団争に全組合員が今こそ起って闘う事、各支部の仲間と共に闘うことを確認し、運動方針を満場一致で採択しました。

最後に、古川支部長の力強い「団結がンパロー」で、才四回支部定期大会は、近年にない盛り上りでかちとられました。



出版物の御案内

- ★ 職場討議 右翼労働「統一」 問題を考える 動労千葉教室 部(元ハ・三三)発行 水44頁 紙350
- ★ 動労千葉新聞(才六回定期大会特集) 81年11月発行 紙100
- ★ 生口講義マルを許すな! 特集:6.12デモツチあげ 版頁600
- ★ 動労千葉決戦ストライキ 一八八一年三月三十一日 株関延長阻止 闘争の記録(三) 闘争支隊基金車 告誡粉砕(81) 10頁 紙591